

千葉大学大学院人文公共学府 教育課程編成・実施の方針（博士後期課程）

「自由・自立の精神」を堅持するために

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野において、行政や国際機関を含む社会の多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す学生が、研究倫理に則り、公共的視座の下で自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行う能力を身につける教育課程を編成し、提供する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野において、国際水準の研究・教育者あるいは社会の中核を担う自立的指導者として、自ら課題を設定し、広範な視野と多様な視点から社会とのかかわり、知的活動を行う能力を身につける教育課程を編成し、海外協定校等と連携して国際的な知的活動を行う機会を提供する。
- 自己の研究成果を外国人や専門分野の異なる人を対象に説明し、情報交換するため、国内外における専門性を生かした多様な研究活動の機会を提供し、国際研究集会への参加準備を支援する体制を整備する。
- 学外における長期の研究活動において継続的な研究指導を受けられるよう、情報通信技術を活用した研究指導の基盤を整備する。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野における学位論文研究において、新しい知見や価値の創造に主体的に関与する機会を提供する。
- また、学位論文研究において、複数指導教員体制の下、教員チームの助言をうけながら具体的な研究計画の策定、研究成果の評価を踏まえた進捗管理の実践を体験する機会を提供する。
- 量的・質的な研究資料を適切に用いて有意な知見を得る能力を身につけるとともに、知識集約型社会におけるイノベーション創出の実践を目指す学修の機会を提供する。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 学位論文研究と平行して、重点分野毎に設置される研究センターの一員として、学内外の研究者や実務家とともに専門領域の情報・知識を共有しながら先端的テーマに取り組む中で、チームワークやコミュニケーション能力を涵養し、社会を先導・牽引する研究者・指導者として高い問題解決能力を身につける

る機会を提供する。

- 国際的な視野に立った研究を通じて、広く世界に通用する研究・教育能力を身につける学修の機会を提供する。

「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。授業科目の特性に応じて、以下のような適切な評価方法によって成績評価を行う。
- 講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- 実験・実習・演習科目では、試験、レポート、プレゼンテーション、ディスカッション等でその達成度を評価する。
- 学位論文は、テーマの学術的な意義、人文社会科学の基盤的理解に基づく先行研究等の整理、適切な資料やデータの収集と分析、正確な論理に基づく叙述、結論の当該学術領域における独創性、ならびに以上を統合的に運用して自立した研究活動を行なっていく能力、高い問題解決能力の修得等の観点に基づき、学府の定める審査体制のもとで、論文審査および最終試験を厳格かつ公正に行う。